評価基準(行動目標化された基準)の表記例

規準の表記例	評価基準の妥当な表記の例(行動目標化した表記の例)
(知識)	※ 各教科の基礎的な知識(文化遺産)の認知的獲得を学力内容とする。
・知る ・理解する ・分かる	「〇〇の再認を正確にできる」「〇〇の模倣ができる」 「〇〇を正確に再現できる」「正確に〇〇を暗唱できる」 「〇〇の説明ができる」「〇〇の要件を列挙できる」 「〇〇の特徴を指摘できる」 「自分の言葉を学んだ〇〇を使って説明できる」 「〇〇を使って動作できる」など。
・気づく	「〇〇と△△の違いを指摘できる」「〇〇と△△の違いを説明できる」 「自分の体験や日常生活上の知識と、学んだ〇〇の違いを説明できる」 「知らなかったことを、発見した〇〇を使って指摘できる」 「はじめて知った〇〇のことを、△△を使って説明できる」など。
(技能) ・技能をつける	「〇〇の計算が正しくできる」「〇〇を使って正確に作業できる」 「〇〇拍子のリズムでたたける」「〇〇が△△基準どおりに動作できる」 「〇〇の資料から△△(値など)を読み取り説明(指摘)できる」 「△△の資料をもとに〇〇の表を作成できる」など。

規準の表記例	評価基準の妥当な表記の例(行動目標化した表記の例)
(思考・判断・表現)	※ 複数の事柄・事象等の関係・関連性を説明・洞察できる学力である。
・活用できる ・考えることができる ・思考する ・思考できる ・判断できる	「これまで知らなかった〇〇のことを、別の△△で説明できる」 「学んだ〇〇を利用して、△△を説明できる」 「〇〇を利用してオリジナルな文が書ける」 「学習した〇〇の具体的な応用方法を説明できる」 「学習した〇〇の具体的な応用場面を説明できる」 「学習した〇〇を自分の体験と関連づけて説明できる」「学習した〇〇を使って、△△(技能)ができる」 価値的な事柄が対立している場面で、「学習した〇〇(考え方・方法)を利用して、学習内容△△に即して、正しく選択することができる」など。
・表現できる	「△△の資料を使って、〇〇の変化を説明(表現)する図を描くことができる」 「〇〇を模倣して、自分の主張ができる」 「問題のありかを事実に基づいて指摘し、自分の考えた解決策(結論)にたどりつくまでに比較検討した事実を根拠にして論理的に説明できる」など。

規準の表記例	評価基準の妥当な表記の例(行動目標化した表記の例)
(主体的に学ぶ態度)	<p>※1 学力内容は、対立する価値概念や規範概念を教科の特質にそって獲得する能力が育ち、学んだそれら使って、自分なりに表現することができることを主たる内容とする。</p> <p>※2 高次の発展・習熟段階の学力である。この学力状態の一定段階までは到達目標(基準)を示すことができる。しかし、最高段階の学力状態では、方向目標しか示すことができない(学者・研究者のレベルがそれである)。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組んでいる 	<p>「自分の見解と対立する意見を具体的に説明し、自分の立場の根拠を明示して自分の意見を説明できている。」</p> <p>「学習した社会科学的な概念の意味を、自分の日常生活での経験値との比較・対照するなど、客観的に説明できる。」</p> <p>「既習の学習内容への疑問を提示することができ、自分の感じた疑問を解決するために粘り強く、自分なりに探究活動をしたことを客観的な資料で説明できている。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持つ ・関心がある ・関心を持たせる 	<p>「○○の具体的な応用場面を探そうとする」</p> <p>「具体的な場面(生活場面)で学習した○○(知識・技能)をあてはめて、説明しようとする」</p> <p>「具体的な場面(生活場面)で学習した○○を利用しようとする」</p> <p>「学習した○○(知識・技能)から、新しい△△(知識・技能)を作りだそうとする」など。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を引き出す ・意欲がある ・意欲的に取り組む ・努力する ・努力できる 	<p>「学習した○○(知識や技能)をわかりやすく整理できる」</p> <p>「学習した○○(知識や技能)を使って、新たな課題をすすんで調べようとする」</p> <p>「学習した○○(知識や技能)の方法を利用して、発表しようとする(発表しようとする行動傾向自体は個人の性格によることが多く、学力とは言い難い)」</p> <p>「実際の日常生活の事象を、学んだ○○で説明しようとする」</p> <p>「日本語で表現できることを、すすんで学んだ英語の○○で表現しようとする」</p> <p>「学習した○○の具体的な応用方法を発案したり、試そうとする」など。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・真面目(熱心)に取り組む ・態度を育てる ・態度をとる 	<p>価値選択(態度決定)・価値判断が迫られる場面で、</p> <p>「学習した○○(概念)を活用して、選択理由(態度決定の根拠)を導く」</p> <p>「選択する方法に、学習した○○(技能)を利用し、筋道を立てて説明(表現)できる」</p> <p>「決断理由を、学習した○○(概念)を根拠にして説明できる」など。</p> <p>(課題例)</p> <p>「あなたが自動車を買うとすれば、次の条件のどれを優先しますか。すべての条件を優先順に並べて、並べた理由を説明しなさい。 スタイル。車体の色。燃費のよさ。排気ガスのクリーン度。スピード性能のよさ。ブレーキ性能のよさ。丈夫さ。運転のしやすさ。価格。」</p>